令和7年第4回（4月）山陽小野田市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和7年4月17日（木曜日） 16時00分 開会

2 場 所 山陽小野田市役所 第2別館 会議室1

3 出席委員 教 育 長 長 友 義 彦 職務代理者 竹 田 佳 枝
委 員 中 村 眞 也 委 員 河 村 芳 高
委 員 末 永 育 恵

4 欠席委員 0人

5 委員及び傍聴人を除くほか、会議に出席した者の氏名

教育部長	藤 山 雅 之	教育次長兼教育総務課長	矢 野 徹
学校教育課長	升 谷 哲 也	埴生幼稚園長	福 間 久美子
学校給食センター所長	吉 村 匡 史	社会教育課長	山 本 修 一
中央図書館長兼厚狭図書館長	山 本 安 彦	歴史民俗資料館長	若 山 さやか
小学校長会長	下 瀬 昌 巳	中学校長会長	高 来 英 行
書 記	原 野 裕 美		

6 傍 聴 人 0人

7 議事日程

(1) 開 会

(2) 会議録署名委員の指名

(3) 報 告

(4) 休 憩

(5) 議 事

(6) その他

① 県費負担教職員の人事について

(学校教育課)

② 市職員の人事について

(教育総務課)

③ その他

(7) 閉 会

開 会

○長友教育長

それでは定刻になりましたので、山陽小野田市教育委員会会議規則による4月の定例教育委員会会議を開催いたします。

本日は委員全員ご出席ですので、会議が成立していることをご報告いたします。

会議録署名委員の指名

○長友教育長

会議録署名委員の指名をいたします。河村委員、末永委員よろしく願いいたします。

会議非公開の決定

○長友教育長

本日の議事日程「6.その他」の「県費負担教職員の人事について」及び「市職員の人事について」は、特定の個人に対する審議であり、公開することにより、職員との信頼関係が損なわれると認められるとともに、人事の適正な執行に支障が生ずると認められます。

よって「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項ただし書きの規定により、非公開としたいと思います。

これに賛成される方の挙手をお願いします。

(全員挙手)

ありがとうございます。全員賛成と認めます。それではレジュメに沿って進めます。

各課・館業務の報告

○長友教育長

報告事項に入ります。

まず私から報告をいたします。

令和7年度がスタートいたしました。新しい体制でのスタートとなります。詳細については各課から報告があります。

それでは私からは入学式、小中高大の連携についての報告をいたします。

まずは入学式です。4月に入ってそれぞれの学校で入学式が行われました。私は4月6日(日)に市立山口東京理科大学、4月8日(火)には今年度から新設された厚狭明進高校、4月9日(水)には須恵小学校の入学式に参加しました。市立大学は工学部331人・薬学部120人・大学院工学研究科52人・大学院薬学研究科5人の計508人が入学しました。厚狭明進高校は、下関市の田部高

校と厚狭高校が再編統合され、普通科と家庭科に関する知識や技術を育む生活創造科が設置された新しい高校としてスタートいたしました。制服も新しくなり普通科70人、総合生活科44人合わせて114人が1期生として入学しました。

須恵小学校の入学式では、6年生児童が拍手とアーチで迎える中、緊張した面持ちで1年生52人が式場に入場いたしました。どの子どもも行儀よく校長先生のお話を聞いていました。

それぞれの学校の入学式は緊張感がある中、温かい雰囲気でも新入生が迎えられていました。くわえて、どの学校の校庭にも桜が満開で入学式に花を添えていたように思います。それぞれの新入生を見て共通していたことは、これから多くのことを学びたい・成長したい・仲間と共に頑張りたいという意欲や姿勢が感じられたことです。新入生が期待する以上に、豊かな学校生活を送ることができるよう教育委員会として支援しなくてはならないと強く感じました。

続いて、小中高大の連携についてです。本市には小学校が11校、中学校が松原分校を含め7校、高校が私学含め4校、市立大学が1校ある恵まれた教育環境にあります。小中学校の連携は、地域連携カリキュラムの作成を軸として、どの中学校区においても連携は進んでいます。また市立大学とは科学実験やお薬教室等、出前授業が小中学校で実施されております。高校におきましては、それぞれが中学校や小学校と連携しております。この度山口県教育委員会においても、山口プライドの醸成という小中高の連携を深める事業を打ち出しています。さらに市立大学では、多様な学びの拠点となる10号館が竣工し、より地域に開かれた大学を目指しておられます。こうした中、市教育委員会では、令和7年度から市立大学市内高校と目的を持って組織的・効果的に連携していきたいと考えており、まずは市立大学と連携し、高校や中学校の校長先生との協議を始めたいと考えております。

私からは以上です。

ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問等ございましたらお願いします。

はい。河村委員。

○河村委員

少子化になかなかブレーキがかかっていない状況で、今小中高大学の入学式とありましたが、入学者の人数について、少子化が止まらないのか、それとも日本の平均よりもどんどん進んでいるのか、指摘されたことや調べられたことはありますか。

○長友教育長

はい。確かな数字はよく覚えていませんが、あと5・6年後ぐらいに中学生は10パーセント以上減るのは確かです。今小学校1年生全体の入学者が400人をきったと思います。その他の学年は400から多いところで500弱なので、そうした流れを見ると少子化は今進んでいると考えています。

○河村委員

どんどん進んでいて、株で例えると下がっている感じですね。下がって横ばいではなく、確実に下がっているということですね。

○長友教育長

確実に下がっています。

○河村委員

はい。わかりました。

○長友教育長

その他ございませんか。

それでは藤山教育部長をお願いします。

○藤山教育部長

この1年も教育委員会の同じ立場となります。よろしくお願いいたします。

私の方からは、このたび藤田市長が無投票で当選を果たされ、3期目をスタートするにあたり、およそ70名の課長級以上の職員に訓示しました。その内容について報告いたします。

第2次山陽小野田市総合計画中期基本計画は順調に推移してきており、今年度が計画の最終年度にあたる。しっかり最終年度を締めくくることにより、令和8年度から始まる後期基本計画に繋げていきたい。そうすることで、総合計画12か年の目標である活力と笑顔あふれるまちスマイルシティ山陽小野田を、市民の皆様方と力を合わせて創っていきたい。

昨年、県外から山口東京理科大学に入学された方から、このまちの印象として「何かまちが動いている。」という嬉しい声をいただいた。山口東京理科大学に新しい学科が新設されるなど、大学に関する動きがたくさんあるが、地区運営協議会をはじめとする市民の皆さんの自主的な動きがしっかり学生さんにも届いている、それを学生さんが「まちが動いている。」というふうに感じとっていただいたのではないかな。

大学入学で県外から山陽小野田市に来た若い人たちにも、私たちが進めている市政をしっかり感じてもらえることが大切。引き続き力を合わせてまちづくりを進めていきたい。

以上が市長の訓示でございます。私からの報告はこれで終わります。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問等ございましたらお願いします。よろしいですか。

それでは、矢野教育次長兼教育総務課長をお願いします。

○矢野教育次長兼教育総務課長

はい。4月になりまして、教育総務課もメンバーの入れ替えがありました。原野総務係長が主査兼総務係長となっております。そして総務係に新たに田坂を、学校施設係長に稲葉を加えて新しい体制でスタートしたところです。

そのような体制の中で、令和7年度に取り組むべき大きな事業について何点かご報告します。

まずは学校施設の長寿命改修事業におきまして、昨年度設計した赤崎小学校の管理棟の外壁改修工事に入ります。

そして厚狭小学校につきまして、耐力度調査という今現在のコンクリート等、どの程度耐えられる力を持っているかを測る調査をします。この結果によって、建て替えなのか改修なのか判断することになります。計画としては、教育振興基本計画が令和7年度で一旦終期を迎えますので、令和8年度からの教育振興基本計画について今年度中に策定する予定です。この他、学校のLED化やプールの再編等課題は山積しておりますが、鋭意に取り組んでいく所存でございます。

次に、共催・後援についてご報告いたします。こちらにつきましては、お配りしております教育委員会が共催又は後援する行事等一覧表をご覧ください。両面印刷となっております。3月26日から4月15日の間に学校教育課又は社会教育課で後援を承認した事業となります。

教育総務課からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは升谷学校教育課長をお願いします。

○升谷学校教育課長

はい。4月に学校教育課に着任いたしました、升谷哲也と申します。よろしくお願いいたします。

5年前に指導主事としてこちらで勤務し、その後、岩国中学校、萩の見島小中学校、そして再び学校教育課で勤務することとなりました。色々とお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

まず初めに、令和7年度学校教育課事務分掌（体制）についてです。

今年度新たに、私を含めて5名の者が学校教育課に配属されました。棟久指導主事と学務係の山口さん、心の支援室の支援員の佐々木千秋さんと土山さんです。業務分担については資料のとおりとなっておりますのでご覧ください。これから1年間、このメンバーで業務に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、令和7年度人事異動についてご報告いたします。

他市町からの転入及び新規採用の教職員についてですが、小学校に31名、中学校に16名の教職員が市内の学校に着任いたしました。皆様にお配りしている資料には表しかなくてすみません。裏に中学校がある予定だったのですが、小学校のみとなってしまい申し訳ございません。小学校の方は、その内新規採用者が10名となっており、中学校の方は、お手元にはないのですが、6名新規採用者が着任しております。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、4月8日に始業式、4月8日・9日に本市で入学式が行われております。別紙にございますが、4月8日から10日までの3日間、本市児童生徒の登校状況がございますのでご覧ください。学校の方からお話を聞いたところ、「昨年度なかなか学校の方に足が向かなかった子も8日、9日と頑張ってきた。」や、「3日経てばお休みになった。」等報告を聞いておりますが、個に応じた適切な指導、支援を続けていけたらと思っております。

そして資料はございませんが、全国学力学習状況調査が本日各学校で行われました。小学校6年生・中学校3年生が全国学力学習状況調査の対象でございます。国語・算数・数学・理科の調査が行われており、この度から理科についてはIRTスコアをベースに調査が行われています。耳慣れない言葉ではございますが、「IRT」とは日本語に直すと「項目反応理論」と言われるようで、どれだけできたか測定するのではなく、本人の能力について調査するものです。分かりにくいと思いますが、簡単に言うと視力検査をするときにIRTに近いものがございます。何個見えたのかを測定するのではなく、どこまで見えたのかを測定しているのが視力検査でございます。理科についても、そのような検査方法をとっているということです。ですから、実際は問題の種類をたくさん準備する必要があります。視力検査もおさえられるところは数が限られていると思うのですが、たくさんあると思うのですけれど、そのような状況で問題はたくさんございます。ただ、能力差によって0.1とか0.2になっているのと同じように問題が仕組まれているので、日をずらして別のテストをやったとしても、その能力を適切に測れるというのがIRTスコア調査となっております。本年度これを中学校3年生の理科で取り組んでいる状況でございます。

最後の資料になります。今年度の年間行事予定がございます。運動会、学習発表会等主な行事の予定でございますので、本市の小中学校はこのような行事を予定しておりますという報告でございます。

以上、学校教育課の報告を終わります。

○長友教育長

はい。それではただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

○末永委員

はい。

○長友教育長

はい。末永委員。

○末永委員

もしかしたら総務課の方にお聞きした方がいいのかもしれませんが、今年度からタブレット端末を小中学生が毎日持って帰ることとなり、充電庫が教室からなくなっているかと思うのですが。ですよ。あら、ありますか。中学校もですか。

○升谷学校教育課長

中学校も、私がまだ全部回れてないのですが、厚狭中学校を見たときは学校に充電庫がありました。

○末永委員

あら、高千帆中学校、充電庫は。

○高来中学校長会長

のけました。

○末永委員

ないですよ。

○高来中学校長会長

よけました。

○末永委員

それで、「何処にいったのだろう。」と色んな人が言っていて家で充電して来るように、とのことなのですが、全学校ではないのですね、すみません。では、学校にはあるということですか。

○升谷学校教育課長

充電する物ですか。

○高来中学校長会長

あります。ありますが、充電する暇がないと思います。常に使いますから。家でも使うようにするので、毎日持って帰って個別最適な学びをするために毎日持って帰っていただくので、学校に持って来ても朝の健康観察から生活アンケートから全部それでやっていきますし、授業中も常にいつでも使えるようにしているので、充電する暇は基本的にはないです。なので、ちょっとよけさせていただいています。

○末永委員

それで家で充電して持って来てください、ということなのですね。

○高来中学校長会長

本年度から、そのような形でさせていただいています。

○末永委員

はい。それで充電庫は何処へ行ったのだろう、どうなるのかな、と色々気になっていたもので、今後どうされる予定ですか。結構大きくて、各教室にあったので、どうされるのだろうと。

○長友教育長

はい。それは今後考えていきます。

○末永委員

はい。よろしく願いいたします。有効な活用方法を。

○長友教育長

ちなみに、アイフィルターというのでフィルタリングがかかっておりまして、家に持って帰っても23時から朝の6時までには使えないようになっていると思いますので、その間に充電をお願いしたいと思います。

○末永委員

はい。わかりました。

○長友教育長

その他ありますか。

はい。河村委員。

○河村委員

私は教育委員になってまだ1年経ってないのですが、この会議に出ていますと、学校教育課の重要性というのをつくづく感じています。課長の立場って非常に色々な役が回ってきて、大変だと思います。新しく升谷課長が就任されて大歓迎なのですが、これよりも前から、山陽小野田市の小中でもいいですけど、課題というか、ここはたぶん教育関係というのは国・県から下りてくるので、その範囲内でされると思います。ここはちょっと融通性を持ってどうにかしたいなと思う課題のようなものを、事前に把握しておられるのかどうか聞いてみたいですね。

○升谷学校教育課長

はい。課題というと教員配置も1つあるのかなと思っています。これは県の人事異動なので、その辺りはどうしようもないところではありますけれど、やはり今教員確保がすごく問題になっているのがまず1点かなということと、「個別最適な学び」・「協働的な学び」としきりに言われておりますが、今のタブレット端末やICTテクノロジーをどのように活用していくかを市として補助金等活用して実施を行って、横展開ではないですが広げていこうと考えているところです。

○河村委員

はい。わかりました。

病気をしないように頑張ってください。

○升谷学校教育課長

はい。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

はい。竹田委員。

○竹田委員

はい。令和7年度児童生徒欠席状況調査票というのは、私は長いですけども初めていただいたような記憶があるのですが、ちょっとびっくりしています。たった3日間の調査ではありますけれども、こんなに多いことに衝撃なのですが、ただ学年が分からないですよね、だからその辺りが、やっぱり1年生に上がった子がちゃんと来られているかな、というのは小学校も中学校も気になっているところなので、その辺りができれば毎回いただければ、すごく大変だと思うので毎回じゃなくてもいいので、いただくとやっぱり欠席多いですよ、不登校多いですよと聞きますけれど実態が掴めていなくて、自分もそうですし、学運教に行っても中々そんなに細やかに出せない情報もあると思うのですが、周りでなんとかしないといけないよね、と思っている支援チームのメンバーもいる中で、このようなデータというのはとても大事なものだと思います。学期ごととか集計して少なくなっていけば一番いいわけですし、方策とかなかなか難しいと思うのですが、学校によって取り組む材料になっていくと思います。今日はただけてありがたいなと思いました。

○長友教育長

はい。何かこれについてお話はいいですか。

○升谷学校教育課長

はい。これは、ふれあい相談室の支援員さんが各学校を回られたり、支援室の方で対応されているお子さんたちをよく気にかけていただいたりして、この3日も調査していただいて実際にはこれ以外に理由や個別について書かれたものに目を通させていただきました。先程もお話をさせていただいたのですが、明るいことも書いてあります。「昨年度まで足が向かなかったのが、頑張ってきたようになった。」とか、「2日目ちょっと遅れたけど来た。」とか、個別で見えていくと、子どもたちの頑張りも目にするにはできるなと思いました。数字にすると多いのですが、理由を見ても学校に行きたがらないような、本人の事情によって来られないようなことも書いているので、そういったところを竹田委員さんに言われたように事細かに見ていながら個別の支援もいるのかなと思っています。ところでございます。この長期欠席等は月に2回学校の方で調査をしておりますので、またご報告する機会があれば時を見ながらできたらと思います。よろしく申し上げます。

○竹田委員

ありがとうございます。よろしく申し上げます。

○長友教育長

はい。中村委員。

○中村委員

埴生中学校で昨日、学校運営協議会が開かれまして、欠席児童生徒が児童数の割に多いというのが前からの課題なのですが、学校の先生が家庭訪問をする、あるいはスクールソーシャルワーカーさんに担当してもらってやっていると、ところが地域に住んでいる人は分からない状態なので、学校からは情報が出ないし、できるだけそのような情報は出さないという学校の方針で、そうすると地域の人たちは昔のように、ここに小学何年生の子がいるというのは通常分かっている状態が50年60年前はあったのですが、今は地域の人知らないです。私は地域の人がある程度係わるべきだと思っているのですが、どこの自治会に小学生が何人いて中学生がどこにいるのか私なんかは関心があっても1割2割程度なので、他の住民の方はほとんど知らないですよ。誰が不登校になっていて、どこの家庭に子どもたちがいるのか、そのような状況をどのように打破していくのか、また学校の先生だと時間が限られるし対応は難しい。一生懸命やって改善しているのですがなかなか難しいところがあって悩んでいるところなのです。地域には市民児童委員さんがいらっしゃいますが、この方も業務上情報は出さないですよ。そのような状況なのです。その点どのように打開していくのが課題ではないかと。色々な状況があって、一人ひとり欠席の状況はあるようですが、病的なものや閉じこもり、あるいは行きたいけれど何かの障害があるとか、そのような情報は地域の人にはない状態なので、その辺をどのようにやっていくのが課題だと思っています。

○升谷学校教育課長

はい。今ご指摘があったとおり、様々な事情で学校に足が向かない状態があるかと思っています。今日これは皆様に出しておりますが、この情報もご家庭の事情いわゆる個人情報で、その中でどこまでというのは難しいのかなと思っています。ですから学校運営協議会や地域の力で支えていただく部分もあろうかと思っています。たしかに学校は不登校対策では困っている場面がございますし、ご協力いただきたいところもございますが、個人情報や事情との兼ね合いで難しいところだと思っています。ただ、見てほしいというようなことは出ると思うのですが、どこまでかというのは学校と学校運営協議会等で協議をしていただきながらになると思います。やっぱり地域の状況、学校の状況もある

と思うのでその辺りも協議会を活用していただきながらになると思っています。

○長友教育長

はい。不登校の子どもに対する支援の仕方として、個別に直接その家庭に支援する方法もありますし、そうでない場合、地域の子どもを集めて楽しめる何かをして、家にこもりがちな子を、学校には行けないけど外に出していくとか、そうした支援の仕方というのは色々ありますので、そこはまた学校運営協議会等で地域ができる支援として、そうした行事を組みながら学校に来たときの校内支援センターを作っておりますので、そこにボランティアで来ていただいて、教室に行かない子どもを見ていただくとか、そうしたご協力をお願いすることがあると思いますので、色々なかたちで地域の方の力を借りて支援をしていければと思っておりますので、その辺り学校運営協議会で役割分担ではないですが、お願いするようなことについてもしっかりと協議していただければと思っております。よろしいですか。

○升谷学校教育課長

はい。

○長友教育長

それでは続きまして、福間埴生幼稚園長をお願いします。

○福間埴生幼稚園長

はい。埴生幼稚園です。新年度の様子と取組について報告いたします。

初めに、園児の様子です。今年度も昨年度同様、新入園児はおらず在園児10名でスタートしました。4月8日の始業式の朝は、みんな笑顔で登園し「おはようございます。」と、元気に挨拶ができました。部屋や園庭で友達と思い思いの遊びを見つけて楽しんでいます。

次に、クラスだよりについてです。今年度はクラスだよりをドキュメンテーションとし、保護者にメール配信を行います。資料をご覧ください。進級おめでとうと書いてある見出しです。お手元にある資料は、今週月曜日に配信をした年長・年中クラスのドキュメンテーションになります。日頃の活動の様子を写真で記録し、幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿を記載しています。毎月2回配信する予定です。クラス前のボードにも掲示しているので、お迎えの時などに子どもの様子についての会話のきっかけになればと思っています。

最後に、今年度の研究主題についてです。今年度の研究主題を「幼児期に必要なからだ力を育む」とし、サブテーマが「多様な動きのある運動遊びと生活における環境構成の工夫」になります。からだ力が運動能力だけでなく、基本的な生活習慣や食育を含めた総合的な力のことだと知り、食育活動を昨年度に引き続き今年度も行いたいという気持ちと、子どもの運動遊びが少し気になっていたのも、今回の主題にしました。子どもたちの健やかな成長を支えるために、今年度も職員一同努力していこうと思います。

以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは続きまして、吉村学校給食センター所長をお願いします。

○吉村学校給食センター所長

はい。学校給食センターからご報告いたします。令和7年度の給食が4月8日（火）から開始されました。今年度は毎日約4700食を学校給食センターの職員、事務5名、栄養士3名、調理師44名で行ってまいります。調理をするにあたりましては、毎年目標にしております、安心・安全でおい

しい給食の提供に努めてまいります。

添付しております、食育だよりをご覧ください。食育だよりは保護者への情報提供を毎月行うもので、食育の推進を目的に作成しております。今回4月は、「学校給食の目標」学校給食のごはんの目安量、学校給食の摂取基準値及び栄養素等学校給食に関係する情報の発信を詰め込んでおります。また今年度から左側中間にあります、「スマイル給食について」ということで、スマイル給食という日を設けてこれをアピールしていく予定でございます。スマイル給食はここにも書いておりますが、食物アレルギーを持つ児童も持たない児童も同じ給食を食べられ、みんなが笑顔になれる給食ということで、スマイル給食に取り組んでいこうと思っております。スマイルについては、山陽小野田市のスマイルをマークとして活用していきたいと思っております。スマイル給食の実績は不定期ですが、児童生徒1人ひとりが楽しく笑顔の生まれる給食時間になるよう努めてまいりたいと思っております。

学校給食センターからの報告は以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは山本社会教育課長お願いします。

○山本社会教育課長

はい。今年度も引き続きよろしくお願いいたします。

この度の人事異動で、安藤補佐と藤上主事の2人が市長部局へ異動となりました。安藤補佐の後任として、文化スポーツ推進課から三浦補佐、生活安全課から池田主事が参りました。新規で1名の会計年度任用職員を加え、全体で9人の体制となりました。あわせてよろしくお願いいたします。

令和7年度は、社会教育推進指針のとおり、『「学び」を通じた豊かな人間性の育成』を目標とし、「地域力・学校力・家庭力向上プロジェクト!」の取組である地域交流センターでの主催講座、また放課後子ども教室、図書館活動、人権教育や平和活動、文化財の活用、青少年健全育成事業、家庭教育支援チームを中心とした子育て支援等を実施し、社会教育の推進に努めてまいります。

社会教育課からは2件、ご報告いたします。

1つ目が春の花壇コンクールの審査についてです。3人の審査員の方々のご協力をいただき4月8日、20の団体や個人を対象に現地審査を行いました。審査終了後に、「今年は例年に比べ寒い日が続いたことから、花の成長に苦勞されていることが多くの団体で見受けられた。寒さ対策で花壇に敷き藁をされるなど、より花の管理に気を使われていた。」と講評がございました。同日、受賞者選考を行い、最優秀賞に一般の部・学校の部・個人の部それぞれから1つずつ、優秀賞に一般の部から7団体、学校の部から3団体、新人賞として一般の部から1団体、特別賞として個人の部から1名、合計15の受賞を決定いたしました。学校の部の最優秀賞は、高千帆中学校が受賞され学校のボランティア部を中心に先生、地域の方々と協力して花壇づくりに励まれたようです。

表彰式は、5月13日14時から市民館で行う予定としております。

次に、歴史民俗資料館の資料についてです。これまで館内の保管場所がなく、保管できない資料を青年の家研修棟2階で管理しておりました。糸根公園の整備により、将来青年の家研修棟の解体が予定されていることから、4月16日社会教育課職員で閉園している下津保育園をお借りし、この場所に資料の移転作業を開始いたしました。硫酸瓶等の皿山（製陶所）に関する史料、唐箕（とうみ）や桶等の農機具およそ1000点の民俗資料がございますが、これからゆっくり丁寧に運搬、移動させていただきます。次回は4月24日を予定しております。

報告は以上でございます。

○長友教育長

はい。それではただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは山本中央図書館長兼厚狭図書館長よろしく申し上げます。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

はい。市立図書館からご報告申し上げます。市立図書館関係資料をご覧ください。中央図書館については、昨年度照明設備LED化工事を行ってまいりましたが、3月31日をもって完成し検査も完了いたしました。

《4、5月行事予定》ですが、4月26日（土）「サイエンス・カフェ」を開催いたします。こちらは2か月に1回開催していますが、この回が58回目となり60回目10周年を8月に迎える予定となっております。このために理科大と協議をして10周年のイベントを行う計画を立てております。

5月7日（水）「小野田ライオンズクラブ寄贈図書採納式」を10時から中央図書館で開催する予定です。5月18日（日）『トーク&カフェ「図書館はともだち」連続講座』3回連続の講座を予定しておりますが、その第1回目「もっと知りたい！図書館のこと—知らなかった！そんなこともできるの？」というタイトルで開催いたします。

厚狭図書館につきましては、《3・4月行事予定》となっておりますが、ここは誤植で《4・5月行事予定》と訂正させていただきたいと思っております。

5月10日（土）『ミュージカル山陽ありすの家「ピノキオ」』を上演いたします。

そして、4半期ごとに利用者、貸出点数の動向を数字でお示ししておりますが、資料をご覧ください。昨年度の動向を数字でお示しております。来館者数については、全市を見ていただければと思いますが、一昨年度よりは増えましたが、昨年度よりは多少減少したところです。貸出点数については、今減少傾向が続いております。今年度この来館者数、貸出点数ともに2パーセント増を目指そうということで、プロジェクトチームが発足し今その作業に取りかかっているところです。

次に裏側の電子図書館利用統計をご覧ください。令和4年度の累計と令和5年度の累計を比較して、閲覧点数と貸出点数をご覧ください。令和5年度はかなり増えていると数字としては見てとれると思っております。その中で、相変わらず6歳から12歳までの小学生にあたる年代が貸出の74パーセントを占めております。そして児童向けの電子書籍の利用が54.3パーセントと他のジャンルと比べて断トツに多くなっています。現在電子図書館システムへの登録を図書館ホームページ上でも行うように3月下旬からいたしました。それによって登録者が少しずつ増えている状況ではあります。

市立図書館からの報告は以上でございます。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

電子図書館の登録につきまして、先日庁議があったときも、藤山教育部長の方から各課の方に宣伝をしていただきました。また、学校の方にも校長先生方をお願いして、職員についても電子図書の登録をしていただくようお願いをしていただいております。少しでも我々も力になって増やすようにしていきたいと思っております。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

今市内の高等学校の方にも電子書籍のプレートを置かせてもらって、ホームページ上からも登録できますよ、というメッセージを添えて行っているところです。

○長友教育長

はい。ありがとうございます。その他よろしいですか。

それでは続きまして若山歴史民俗資料館長お願いします。

○若山歴史民俗資料館長

はい。資料をご覧ください。

4月1日から「10分でわかる山陽小野田市の歴史」の展示をスタートさせております。初日には着任式前の先生方16名に見学をしていただきました。今年度も学校と連携しながら、見学対応や出前授業を行ってまいります。現在、小学校・中学校・高校と5件程、依頼の方がきております。

次に、先月年間スケジュールをお配りしておりますが、その中で「昭和100年企画展山陽小野田の昭和写真展」と歴史講演会の2つが山陽小野田市誕生20周年記念事業に選ばれましたので、ご報告いたします。歴史講演会の方は、厚狭毛利家文書に関する専門家の先生をお招きして講演会を行います。

資料館からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは小学校長会長お願いします。

○下瀬小学校長会長

はい。小学校長会から3点ご報告します。

1点目は先程もありましたが、入学式・始業式に関することです。

令和7年度が始まりました。市内全小学校では、4月8日に始業式が行われました。進級した児童は、何組になったのか期待しながら登校していました。新しい教室で、新しい仲間それから新しい先生との出会いがあり、児童1人ひとりが自分の目標をしっかりとって、健やかに成長していくことを願っています。

また、本年度は9日に入学式が行われました。小学校に入学することを心待ちにした1年生が輝く笑顔で入学してきました。保護者の方も、2名で式に参加される方が多く、入学式の看板や桜の木の下では写真の行列ができていました。高千帆小では4月9日に入学式を行い、95名の入学児童を迎えました。式は1年生と保護者、6年生、来賓の出席で体育館がいっぱいとなりました。1年生の笑顔と、我が子の入学の喜びに溢れた保護者の表情は、とても素晴らしいものでした。1年生は入学にあわせて大きなランドセルを背負ってやって来ました。大変輝かしい姿で、喜びに溢れておりました。

2点目は交通事故防止についてです。

入学式翌日から、登校の様子や下校の様子を見ると、まだまだ不安なところがたくさんあり、4月は新入生が不慣れな道路を登校して来るため、集団登校での班長さんの引率、下校指導では、各教員が各方面に引率して行き、危険箇所や横断歩道の渡り方、左右の確認の仕方をその場その場で教えております。入学式当日は良い天気であったため、歩いて登校される家庭がほとんどで、ここ数年入学式のときに通学路を歩かれて危険箇所を探されている保護者の方も多くいます。子どもの目線で交通安全を意識していかれるよう学校としても声掛けをしている状況です。

3点目は全国学力学習状況調査についてです。本日6年生の全国学力学習状況調査が、国語・算数そして今年は理科が加わり行われました。また、5年生は山口県の確認問題が行われました。児童は真剣に1つひとつの問題にゆっくりと取り組み、長い文章をしっかり読みながら質問に答えていました。5年生の確認問題はこれまでと違い、問題はタブレットで見ながら、回答は回答用紙の紙にということで、実施方法や回答方法が昨年と異なっていました。明日はCBTによる児童質問紙もあります。また、校長が回答する学校質問紙では、国語・算数や理科の指導状況だけでなくICTタブレッ

トの活用、特別活動や学習評価、業務改善、小中連携や特別支援教育等さまざまな質問がありました。

最後に市の校長会では、市内の学校運営に関するさまざまな課題解決に向け市教育委員会の指導・助言をいただきながら進めてまいりたいと思っております。学校行事や特色ある教育活動、市主催の研修会等校長からもしっかり提案したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

はい。河村委員。

○河村委員

学力学習テストは何年に1回あるのですか。

○下瀬小学校長会長

毎年あります。

○河村委員

毎年あるのですね。当市の学力は全国レベルの上か下かでいうと、どちらですか。言えないですか。

○長友教育長

全国並みです。全国に良いとか悪いとかではなくて、全国並みです。間に挟まれておりますので。学力学習状況調査は国語と算数、数学につきましては毎年実施で、理科と英語につきましては何年かおきに実施されることとなっており、今年は理科の年になっています。

○河村委員

学校はやるたび違うのですね。いつも同じ学校でするわけではなく、実施する学校は別の小学校で毎年行っているのですね。

○長友教育長

いえ、全部同じ問題を全部の学校でやります。

○河村委員

全学校でやっているのですか。

○長友教育長

全学校でやります。全体調査となっておりますので。

全部の学校でやりますけど、目的は子どもたち一人ひとりの学習の状況をよく調べて、その状況に沿った指導を行っていく、資料にするのというのが大きな目的ですので、問題は今日終わった後、先生方は丸付けをして間違いがあればその間違いをどんな間違いが多かったかを、誤答分析という言い方をしているのですが、その分析をしてそこに至った子どもの思考というのを明らかにしながら授業に生かしていくことをしています。もちろん子どもたちに個票も返しています。

○河村委員

学力が高いか低いか興味がありましたが、本来の目的も教育長が言われたように、いかに学習にフィードバックして効率的な良い学習の仕方をするかが目的だと思いますので。うちの学校の、とか市ごとのレベルが一番の関心事だと思いますが、今は考えていないというのが実状ですかね、残念ながら。

○長友教育長

はい。よろしいですか。

それでは続きまして中学校長会長をお願いします。

○高来中学校長会長

はい。高千帆中学校校長、高来でございます。本年度から市の中学校長会長となりましたのでこの場に出席しております。どうぞよろしくお願いいたします。

中学校長会から4点報告いたします。

1点目は、着任式・始業式・入学式の実施についてです。

4月8日（火）は大変良い天気にも恵まれまして、桜の花びらが舞う中の入学式となりました。どの中学校でも、若干の欠席はあったものの立派に入学式が挙行できたと聞いております。本校では新入生1名の生徒が参加できませんでした。152名の参加でとても温かい雰囲気で行うことができました。ご来賓の参加は、学校運営協議会、教育後援会、育友会、それぞれの会長さん等どの学校も特に関係のある団体の方々のご臨席を賜りました。また、多くの中学校で今日までに新入生の歓迎の全校集会を生徒会主催で実施しているところでございます。

2点目についてですが、小規模特認校の開校についてです。小規模特認校は少人数ならではのきめ細かい指導や、地域と連携した特色ある教育活動が展開されている小規模校において、教育を受けることを希望する児童生徒や保護者に対し、一定の条件の下で市内のどこからでも転入学を認める学校ですが、今年度から厚陽小中一貫校で実施されているのはご承知のとおりでございます。4月8日の始業式には小学校4年生1人と聞いています。中学校2年生に1人の転入生が元気に登校したと聞いております。

3点目は、令和6年度末の中学校卒業生の進路についてでございます。本校については3月末の段階で、全日制課程や通信制課程を含め全員が進学先を決定することができました。市内中学校では、概ね進路決定できていますが、進路未定者が1人程度の中学校が若干あります。現在、通信制課程の出願をして、これから受験する生徒もいると聞いています。家居となっている生徒については、引き続き家庭と連絡を取りながら、市の福祉部局との連携も必要になると考えているところでございます。

最後4点目ですが、3年生の全国学力学習状況調査と1・2年生の県の確認問題についてです。先程小学校でもありましたが、本日4月17日を基準日として、すべての中学校で行われているところでございます。3年生の全国学力学習状況調査は国語、数学、理科で実施されました。理科については先程学校教育課さんからもありましたが、タブレット端末を活用して回答するCBT方式で実施されております。理科のCBTは初めてのことでございます。本校も今日の6校時にやっていますが、当初ちょっとトラブルもあったのですが、本番の時間は無事順調にCBTが行われたということでした。

それから1・2年生を対象とした県の確認問題は、1年生は国語と数学、2年生はこれに加えて英語についても実施されているところでございます。これらの調査は教育活動の定着状況を把握する重要な機会と捉えております。先程教育長さんの方からもありましたが、この結果を分析・検証して今後の学習指導の改善に努めて参る所存でございます。

以上でございます。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは以上で報告を終わります。

次回の会議日程

○長友教育長

続きまして、次回会議日程について教育次長よろしくお願ひいたします。

○矢野教育次長兼教育総務課長

はい。次回の定例会につきまして、事務局といたしましては、5月22日（木）14時00分から有帆地域交流センターで開催したいと考えております。以上お諮りいたします。

○長友教育長

はい。皆様、5月22日（木）14時00分、有帆地域交流センターということでよろしいでしょうか。

（「はい」という声あり。）

それではよろしくお願ひいたします。

以上で前半を終了いたします。お疲れ様でした。

16時59分休憩

17時00分再開

その他

○長友教育長

それでは議事に入ります。議事については今回、議案や報告の案件はございませんので次に移ります。

それではその他（1）及び（2）につきましては非公開ですので、後ほど審議させていただきます。

（3）その他について事務局の方から何かございますか。

それでは学校給食センターからよろしくお願ひします。

○吉村学校給食センター所長

はい。この度6月補正で給食費の物価上昇分についての補正を挙げる予定にしております。それに先立ちまして説明をさせていただきたいと思ひます。

お手元のカラーの資料をご覧ください。それでは簡単に説明させていただきます。

給食費につきましては今、保護者にご負担いただひているのは令和3年（2021年）を基準に小学生が250円、中学生は290円で給食費を負担していただひております。実際にかかっている経

費ですが、小学生薄い方の上の段を見ていただくと分かりやすいですが、250円・262円・288円・298円・320円と、令和3年を境に物価上昇が影響しまして金額が上がっております。今年度につきましては、主食・副食・牛乳等を考えて計算したところ320円、下の方が329円で計算したのですが今年度令和7年度におきましては320円の経費がかかるであろうということで今回予定しております。したがって今回小学生の方においては、物価上昇分として70円の補正を組む予定としております。また同じように下の段の中学生なのですが、中学生290円が保護者にご負担していただいている金額なのですが、薄いピンク色については経費が物価上昇分に影響するもので、令和3年は290円で令和7年においては379円となり、今年度補正予算で予定するのは80円プラスの370円として、給食費の賄材料費を補正でよくしようと考えております。物価の上昇につきましては、山口県は山口市の消費者物価指数を基に算定しております、主食であります、パン・ごはんと牛乳につきましては、山口県下で給食会が定めている金額となっております。費用につきましては今回6月で小学生については70円分と、中学生については80円分を上昇した分を補正で挙げる予定としてご報告させていただければと思います。また今後なのですが、当初令和3年度当時は物価上昇もすぐに落ち着くであろうということで、物価上昇分につきましては落ち着くまでは市で賄っていく方針でありましたので、保護者におきましては250円、290円据え置きでやってまいりましたが、物価上昇が毎年上がっておりまして、どこまでいくのか分からない状況でございます。すでに市の方の負担も増えておりまして、増加分については今後250円を改訂して、小学生が今でしたら320円、中学生が370円に変更していこうと考えているところでございます。

説明は以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の説明に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

はい。河村委員。

○河村委員

中学生は80円の値上げですか。

○吉村学校給食センター所長

はい。

○河村委員

小学生は70円の値上げになるのですか。

○吉村学校給食センター所長

はい。

○河村委員

1日あたり4700名の生徒がおられるのですよね。そして給食費を実際払えない生徒というのは、何名ぐらいおられるのか、それと払えない生徒がおられる場合の補てんはどのようにされているのかを聞かせていただけますか。

○吉村学校給食センター所長

人数的な数字は今持っていないのですが、給食費自体の支払いについては、家庭が苦しい方は生活保護の方と就学援助の方法がありまして、今、就学援助で払われている方は、現物支給という形で就学援助費を給食費の方に入れられています。ですので、お金が厳しい方についてはそのような制度がありますので、ほぼ保護されていると考えております。実際家庭が厳しいわけではなくて収められない方が何人かいらっしゃいまして、その方の滞納は毎年増えています。低所得者の方については、国

の制度によって守られておりますが、逆にきちんともらわれている家庭の方が収められていない状況でございます。数字の方は今持っていないのでお答えできませんが。

○長友教育長

その前に少し補足をいいですか。

○藤山教育部長

6月補正の数字をセンター所長の方から話をしましたが、今日この議題を出したのは給食費の値上げについて議論をスタートさせていただくということで、事前に教育委員さんの方にお知らせしたいということでもあります。今回の補正の金額が、来年度からの給食の改定額になると決定はしておりません。これから庁内で議論を進めていくところではありますが、先般からご存じかもしれませんが、本市の財政状況は大変厳しいため来年度、今は物価高騰分については市が負担して保護者負担を軽減しているところがございますが、来年度それが叶うかどうかというのは現時点で未定でございます。一方で給食費の無償化という動きがございますが、これについてアナウンスされているのは小学校をまず先行する、中学校はその後速やかにということで、このままですと中学生の保護者の方については物価高騰分を含めた給食費全額を負担していただく可能性が出てまいりましたので、そういった面からも給食費の改訂について議論をしていきたいということでご理解いただければと思います。

私からの補足は以上でございます。

○長友教育長

私の方からも一言。

なかなか分かりにくいところではあるのですが、今の給食の質を維持しようとする、この金額になるということで、質を落とすとかそうしたことをすれば値段は抑えることができます。ただセンターの考えとしては、質は担保するのは食育の観点もありますし、地産地消その他色々な観点があるので質は担保すると、それが教育的には必要だろうという観点から、今の質を担保したままですと計算ではこのようなことになるということです。毎日カレーにすれば安くなるというのは聞いたのですが、それでは給食の目的である食育が達成できないことから、こういった議題になっています。

はい。では中村委員。

○中村委員

先程の河村委員さんから質問があったのですが、何年か前の尾山教育部長から報告いただいたのは、だいたい山陽小野田市の25パーセントの家庭が実質上給食費を払っていません、と。そういう状況はあまり変わっていないのでしょうかね。

○長友教育長

払っていないというのは、払わなくてはいけないのに払っていないということですか。

○中村委員

生活保護と就学援助の現物支給されている家庭がだいたい25パーセントある中で、その割合というのは5年経っていても変わってないだろうと思いますけれども、急に変わるような情勢はないでしょうからね。

○藤山教育部長

今おっしゃっているのは、生活保護受給者と準要保護といって生活保護に準ずるぐらいの方に認定された就学援助の対象者を足したら、以前は25パーセントくらいだったのですが最近は少し景気が良くなったこともありまして、就学援助の認定率が少し下がってはいます。ただそれでも2割は超えていると私の方としては承知しております。

○吉村学校給食センター所長

はい。先程河村委員からご質問がありました、「どれぐらいの方の未納者がいますか。」ということで、今申しました生活保護や就学援助を外した令和5年度時点で未納者が165人、未納額が269万3千265円でございます。令和3年度途中から公会計をしましたので、それ以前の未納者は把握していないのですが、公会計になってからの正確に言えば令和4年度からでしたら数字がありまして、令和4年度は130人、令和5年度は165人で数字が上がっております。

○竹田委員

兄弟だったら兄弟の分も、ということになりますよね。

○吉村学校給食センター所長

そうです。世帯数にすると118世帯です。

○竹田委員

今のご時世で普通の方は、上がっても仕方ないよね、ということは保護者の声は聞いてほしいですけど、保護者じゃない者からしたら、あれだけの給食をこのお値段で食べられるかというような感覚で試食させてもらって思います。ですが保護者側の目線でいくと上がることにに対して敏感になっていると思うのですが、上げていく段階で保護者に対して分かりやすく説明なのか、アンケートなのか、保護者に対する細やかな気遣いをして上げていかないと、本当にそのようなところに保護者の方は敏感に反応されるのですよね。「なんで早く言ってくれなかったのか。」と。だから先々こうなるよと見通しをあげて、それがある程度納得してもらえそうな状況を作っていけば、払わない人に関しては一応と分からないですが、理解のある人は理解していただけるのではないかと私は思います。

○末永委員

今日聞いたのでなかなか難しいですけど今まで色々話を聞いた中では、給食費については昔から皆さん言われていると思いますが、第一前提として「義務教育で給食費がなんで無料にならないのだろう。」とはよく聞いていたのはあります。今、他県や市で給食無償化がよく出ているので、すごくインパクトありますのでその話はよく出てきます。でもそれはまた違う話になると思うのですが、今提示された話を見て保護者でよく話していて感じたのは、今、社会状況を考えると値上げは仕方ないと思います。なんでも値段が上がっていて、給食費もですが他の物もそうだと思います。給食費単体で考えると値上げは当たり前だと思いますが、例えば市全体とは言いませんが学校、教育委員会としての財政状況で考えると、無くしてもいいものもあるのではないかとか、全体で考えると、これ無くしたらこれだけ財源上がるよね、というのは思うことはあるので、全体で見るとまた新たにあるのかなと思います。ICTも活用されてきて財政状況も変わっていると思うので、そのような考え方はないのかな、というのは保護者や一般市民として皆さんよく言います。「これにはお金かけて、ここは上げるのか。」とか「これはなくていいよね。」とか、項目に対して色々な意見があると思うのですが、そのような考え方はよく話に出てきます。

以上です。

○藤山教育部長

おっしゃるとおりですね、やはり給食費の値上げで保護者負担が増えるとなると、他に無駄がないか等議論が出てくるのは当然だと思います。そのために教育委員会だけでなく、本市で計画を立てて必要性があるのかどうかを査定して予算を立てているところです。私も今回4年目になりまして、十分使われていないと思う事業もあるので、これから来年度の予算にむけて教育委員会内でしっかり

議論して少しでも無駄を減らして、給食費の値上げとは違う一方で行っていかねばいけないと思います。給食費の値上げについては、学校給食法で原則保護者負担と謳われているのですが、ただそれを支援できないことはないというのが国の見解でございまして、全国的に無償化をしている所、していない所があります。国の動きで小学校の無償化については進めていくことになると思います。中学校についてはまだ、いつかというのははっきり分かっていませんので、保護者の負担については先程言いましたが、どこかで保護者の方に説明する、丁寧に説明する、こういったプロセスは必要ではないかと考えております。それはですね、値上げ額はまだ決まっていませんので、議論した上でご提示できればいいと思いますし、それから一方でもし値上げとなって保護者負担でお願いするとなると、予算的なもので議会の承認も必要となりますので議会の方にも丁寧に説明はしていきたいと教育委員会としては考えています。

お答えになったか分かりませんが、以上となります。

○長友教育長

はい。よろしいですか。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

はい。

○竹田委員

やっぱり質を落とさないでほしいと思っています。それを望む保護者が多いのか、質を落としても安くていいと思っている保護者が多いのかは分からないので、そこを知りたいなと思います。当初センターになったときに、色んな問題や苦情がたくさん出たんですね。味が薄いや濃いとか。でも今はどの保護者に聞いても、「給食はおいしいよね。」や「子どもが楽しみにしている。」という声が聞こえるので、上げないといけなくなったときにどうするかは保護者を交えて話し合っ、納得できる点を探してほしいなと思います。

○末永委員

はい。いいですか。

○長友教育長

はい。

○末永委員

学期ごとに学校のアンケートをしていると思うのですが、そこに給食の項目を入れてみたりすると保護者はパソコンや携帯でするので簡単にできるかなと。私も個人的には質はもちろん下げほしくないし、今の給食はとってもおいしいと聞きますし、他市よりもすごくおいしいというのはよく言っていることなのですが、果たしてみんながどう思っているのかなというのは竹田委員と一緒にすごく気になるので、そういう方法で色んなアンケートを取られていると思いますので、取ってみたらおもしろい結果が出るのかなと、それで大多数の意見がもしかしたら私が思っているものと違うかもしれないですし、取ってみてもいいのかなと思いました。

○長友教育長

はい。

○藤山教育部長

たしかに保護者の方の考えを聞く上でアンケートは有効な手段だと思っておりますが、かたや保護者の代

表の方に意見を聞くという手法もあるのではないかと私としては捉えておまして、そこを保護者にもどのように聞くかというのは今後、教育委員会内で考えていきたいと思っております。

○末永委員

はい。お願いします。

○長友教育長

ではその他よろしいですか。何かありますか。

○吉村学校給食センター所長

今年度は補正で市が組みますので、保護者の負担はありません。ただ先程部長が言われましたように、今後、市が負担している補正を協議するにあたっては、いただきましたご意見を参考に対応していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○竹田委員

お願いします。

○長友教育長

はい。まだ協議が始まったということですので、決定したわけではございませんので、色んなご意見をいただきながら教育委員会としても方針を決めていこうと思っております。

それでは（３）その他については以上となります。

県費負担教職員の人事について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項ただし書きの規定により、非公開

市職員の人事について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項ただし書きの規定により、非公開

閉 会

○長友教育長

これで本日予定されておりました議事は全て終わりました。以上を持ちまして会議を閉じます。皆様お疲れ様でした。

17時27分閉会

山陽小野田市教育委員会会議規則第19条の規定により、ここに署名する。

令和7年 4月 17日

教 育 長

印

署 名 委 員

印

署 名 委 員

印

会議録を調製した職員

印